

CLUSTERPRO

MC ProcessSaver 2.10

for Windows

ユーザーズガイド

(プロセス自動監視機能)

© 2025(Apr) NEC Corporation

- ☐ 本機能の概要について
- ☐ インストールおよびアンインストールについて
- ☐ 操作・設定について
- ☐ メッセージ
- ☐ 注意・制限事項
- ☐ リファレンス

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2017.04	新規作成
2.0	2018.04	バージョンアップに伴い改版
3.0	2018.06	商標の記載の修正
4.0	2019.04	バージョンアップに伴い改版
5.0	2020.04	バージョンアップに伴い改版
6.0	2021.04	バージョンアップに伴い改版 インストール先のデフォルトフォルダーを変更
7.0	2022.04	バージョンアップに伴い改版 新サポートOS (WindowsServer2022) の記載を追加
8.0	2023.04	バージョンアップに伴い改版
9.0	2024.04	バージョンアップに伴い改版
10.0	2025.04	バージョンアップに伴い改版

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.10 for Windows (以後 ProcessSaver と記載します) のプロセス自動監視機能について記載したものです。

(1) 本書は以下のオペレーティングシステムに対応します。

サポート対象ハードウェアは、x86_64 搭載マシンです。

- Microsoft Windows Server 2016 Standard
- Microsoft Windows Server 2016 Datacenter
- Microsoft Windows Server 2019 Standard
- Microsoft Windows Server 2019 Datacenter
- Microsoft Windows Server 2022 Standard
- Microsoft Windows Server 2022 Datacenter
- Microsoft Windows Server 2025 Standard
- Microsoft Windows Server 2025 Datacenter

(2) 概要

本機能は、ProcessSaver の拡張機能として提供されます。

システムで稼働しているプロセス/サービスの稼働状況を元に、自動的にプロセス/サービスの稼働状況の監視を行い、想定外のプロセス/サービスの障害に起因する業務への影響に、迅速に対応が可能になります。

注意

本機能は、ProcessSaver 本体がインストールされた環境において使用可能です。

そのため、本マニュアルは ProcessSaver の機能、および、動作を理解していることを前提として記載しております。あらかじめご了承ください。

また、ProcessSaver の基本機能につきましては、

『CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.10 for Windows ユーザーズガイド』を参照してください。

(3) 商標および登録商標

- ✓ その他記載の製品名および会社名は、すべて各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1	本機能の概要について.....	1
1.1	本機能の提供する主な機能について.....	1
1.1.1	プロセス自動監視機能.....	1
1.2	製品の構成について.....	3
2	インストールおよびアンインストールについて	4
2.1	インストール手順.....	4
2.2	アンインストール手順.....	9
2.3	ダウングレードインストール手順.....	10
3	操作・設定について.....	11
3.1	プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)	11
3.1.1	プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動と停止.....	11
3.2	運用管理コマンド.....	13
3.2.1	監視情報の表示.....	13
3.2.2	各設定項目の設定状況の表示.....	14
3.2.3	プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動.....	14
3.2.4	プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の停止.....	14
3.3	プロセス自動監視設定ファイル (Pswatch.conf)	15
3.3.1	プロセス自動監視設定ファイルの設定.....	15
3.3.2	プロセス自動監視設定ファイルの設定変更手順.....	16
3.4	プロセス自動監視リストファイル(PswatchList).....	17
3.4.1	プロセス自動監視リストファイルの設定.....	17
3.4.2	プロセス自動監視リストファイルの設定変更手順.....	17
3.5	監視無効リストファイル(PswatchIgnoreList)	18
3.5.1	監視無効リストファイルの設定.....	18
3.5.2	監視無効リストファイルの設定変更手順.....	18
4	メッセージ.....	19
4.1	イベントログメッセージ.....	19
4.2	コンソールメッセージ	21
5	注意・制限事項	22
5.1	注意事項	22
5.2	制限事項	22
6	リファレンス	23
6.1	Pswatchadmin	23

1 本機能の概要について

1.1 本機能の提供する主な機能について

1.1.1 プロセス自動監視機能

本機能は、システムで稼働しているプロセス/サービスの稼働時間を元に、自動的にプロセス/サービスの稼働状況の監視を行う機能です。

本機能を使用することで、ProcessSaver 本体で監視していないプロセス/サービスに関しても、自動的に監視を行い、想定外のプロセス/サービスの障害に起因する業務への影響に、迅速に対応が可能になります。

本機能は、インストールするだけで面倒な設定作業を行わずに使用することができます。

また、運用管理コマンドを使用して、プロセス/サービスの稼働状況を把握することが可能となります。

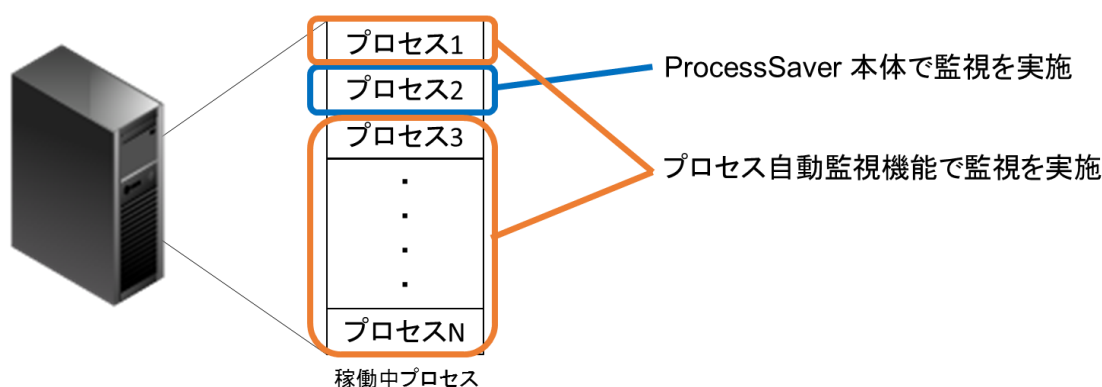


図1 機能概要図

1.1.1.1 プロセス/サービスの監視の方法

プロセス/サービスの監視の対象は、プロセス自動監視設定ファイルに定義されている連続稼働時間以上、稼働しているプロセス/サービスを監視の対象としています。

監視の対象になった、プロセス/サービスが停止した場合は、障害状態と判断します。

障害状態のプロセス/サービスが、プロセス自動監視設定ファイルに定義されている連続停止時間以上、停止している場合は監視対象から除外し、該当プロセス/サービスが連続稼働時間以上、稼働するまで監視は行いません。

設定例)

- ・連続稼働時間: 12時間
- ・連続停止時間: 12時間

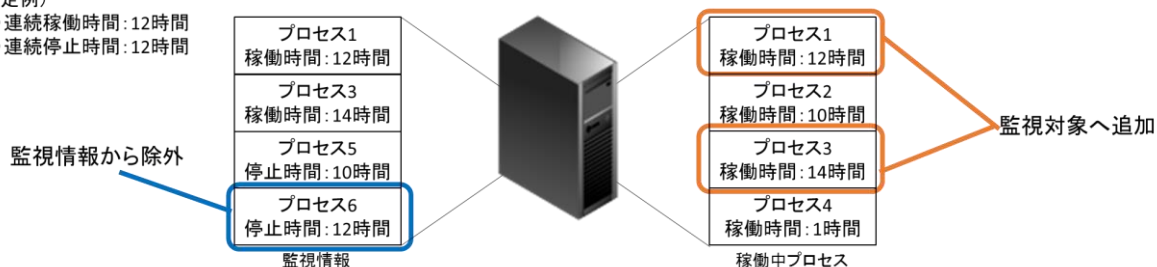


図2 監視方法

また、本機能停止時にプロセス/サービスの監視対象の情報を、プロセス自動監視リストファイルと停止リストファイルに保存します。

本機能起動時に各リストファイルを読み込むことで、本機能停止前の監視対象の情報をを使用して監視を継続することができます。

1.1.1.2 停止検知時の動作

監視対象のプロセス/サービスの停止を検知した場合、障害メッセージログやイベントログに障害情報を出力します。停止を検知したプロセス/サービスが、起動中の ProcessSaver 本体で監視対象としている場合は、イベントログへの出力は行いません。

1.2 製品の構成について

本機能で使用するフォルダーおよびファイル構成は以下のとおりです。

フォルダー	ファイル	概要
【インストールフォルダー】 ¥HA¥Pswatch¥config¥	Pswatch.conf	プロセス自動監視設定ファイル
【インストールフォルダー】 ¥HA¥Pswatch¥data¥	PswatchList	プロセス自動監視リストファイル 監視対象のプロセス/サービスの一覧を記載したファイルです。
	PswatchStopList	停止リストファイル 監視対象のプロセス/サービスが停止した場合の情報を記載したファイルです。 ユーザーが変更することはできません。
	PswatchIgnoreList	監視無効リストファイル 監視対象としないプロセス/サービスの一覧を記載したファイルです。
	PswatchDumpYYYYMMDDhhmmss	プロセス情報ファイル 監視対象のプロセス/サービスの停止検知時に出力するファイル
【インストールフォルダー】 ¥HA¥Pswatch¥log¥	PswatchTrace.log PswatchTrace_err.log	動作ログ プロセス自動監視サービスの内部ログです。
	PswatchReport.log	障害メッセージログ 監視対象のプロセス/サービスの停止検知時の情報を出力するログです。
	PswatchadminTrace.log PswatchadminTrace_err.log	動作ログ 運用管理コマンドの内部ログです。

本機能の利用時に使用する、各フォルダーの使用容量は以下のとおりです。

フォルダー	使用容量	概要
【インストールフォルダー】 ¥HA¥Pswatch¥data¥	約 1 MByte	プロセス情報ファイルは、最大 10 ファイルまで作成される。
【インストールフォルダー】 ¥HA¥Pswatch¥log¥	約 600 MByte	各ログファイルのサイズの上限は30MByte で3世代までバックアップを作成する。

2 インストールおよびアンインストールについて

2.1 インストール手順

本機能のインストール手順は以下のとおりです。

注意 本機能は、ProcessSaver 本体のインストール完了後に
インストールしてください。

- (1) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (2) 【Setup.exe】を実行してください。

【CD-ROM(DVD-ROM ドライブ)】¥Util¥pswatch¥Windows¥setup¥Setup.exe

実行すると下記画面が表示されますので、次へ(N) を押してください。

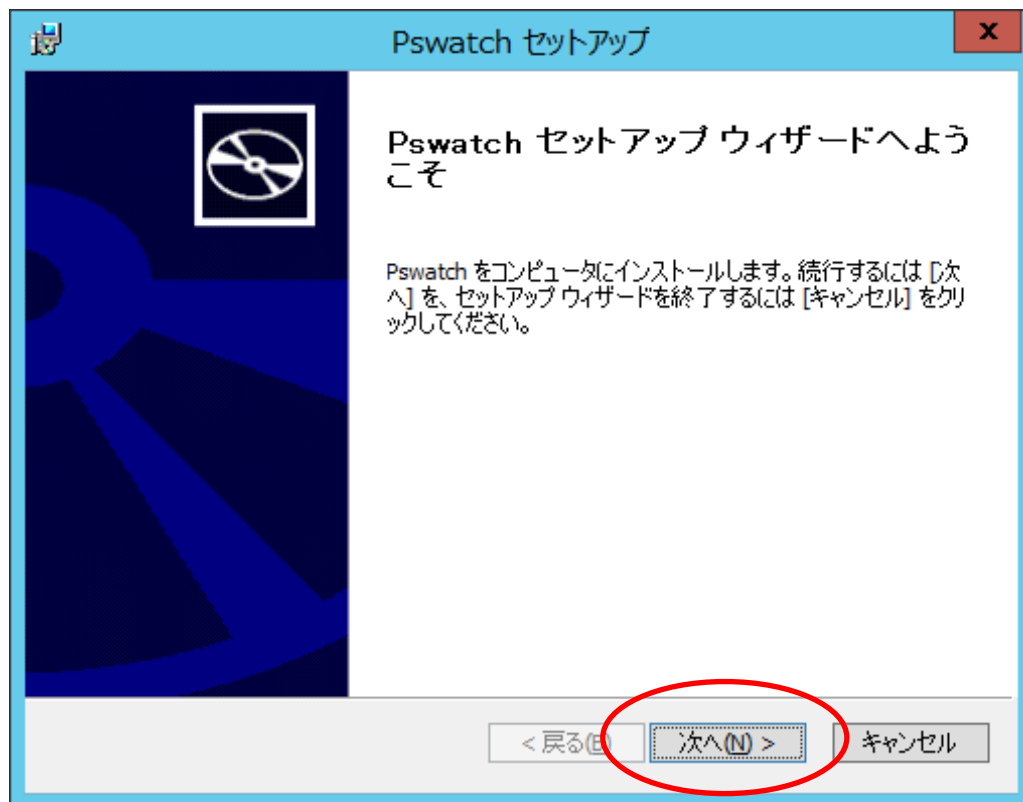


図3 インストーラー準備画面

注意 Microsoft Windows Server 2025 以降において Setup.exe を実行した際、セットアップ画面起動と同時に Windows Terminal が起動する場合がありますが、インストールに影響はありません。起動した Windows Terminal は無視してインストール手順に従ってセットアップ画面を操作してください。
なお、インストール終了後に Windows Terminal は自動で終了します。

- (3) インストール先のフォルダーを指定します。
指定したフォルダー配下に "HA¥Pswatch" フォルダーが作成され、各ファイルがインストールされます。
デフォルトのインストール先ドライブは、最も空き容量の大きいドライブです。
通常は、"C:¥Program Files" です。

デフォルトのままでもかまわない場合は、次へ(N) を押してください。

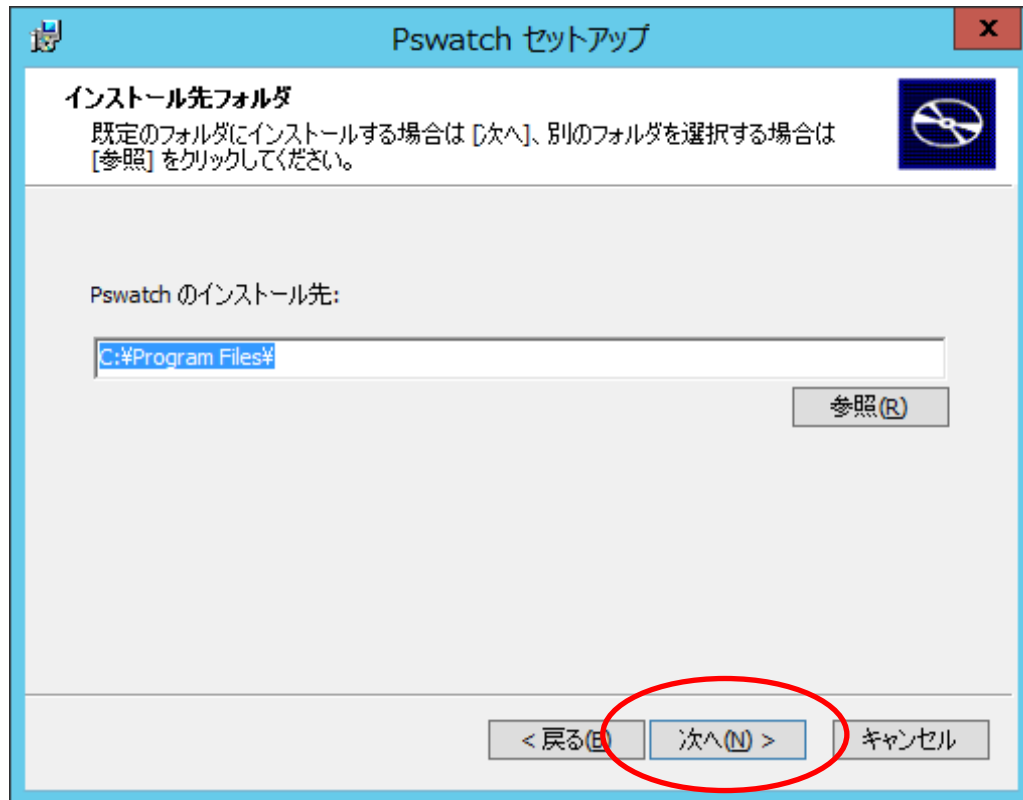


図4 インストール先フォルダー画面

インストール先を変更する場合は、参照(R) を押してください。下記画面が表示されます。
インストールするフォルダーを入力もしくは選択して、OK を押してください。

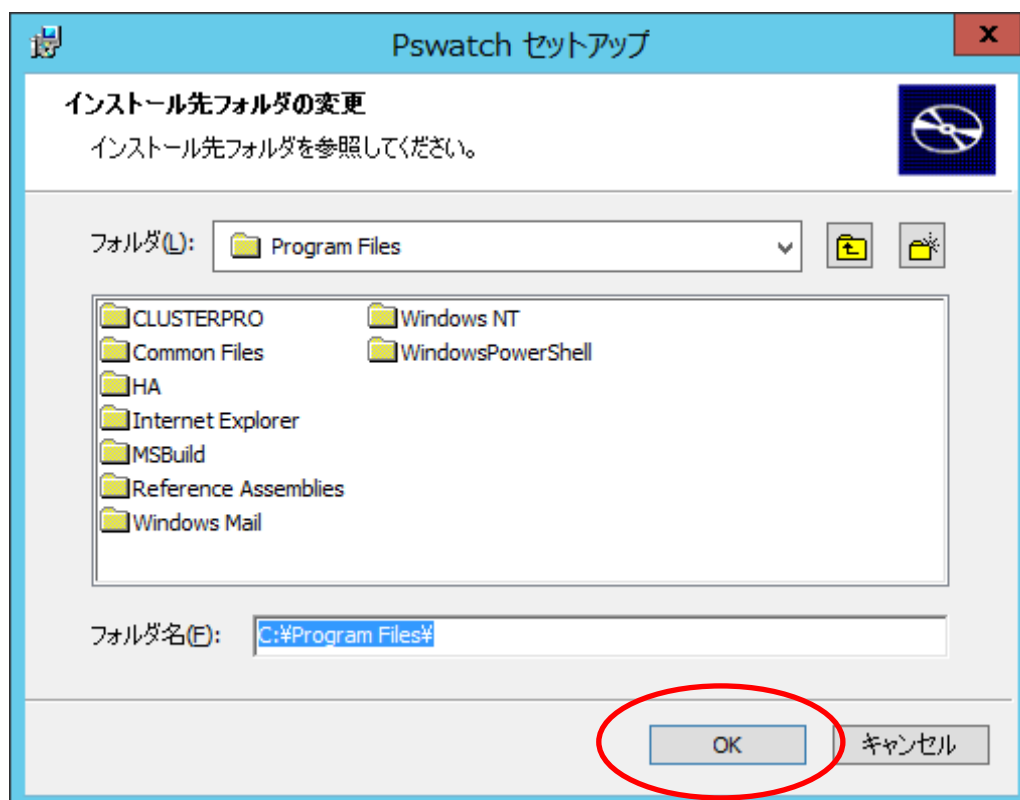


図5 インストール先フォルダーの変更画面

注意 インストール先のフォルダーには、ネットワークドライブ上のフォルダーは指定できません。必ずローカルドライブ上のフォルダーを指定してください。

- (4) インストール(I) を押してインストールを開始してください。

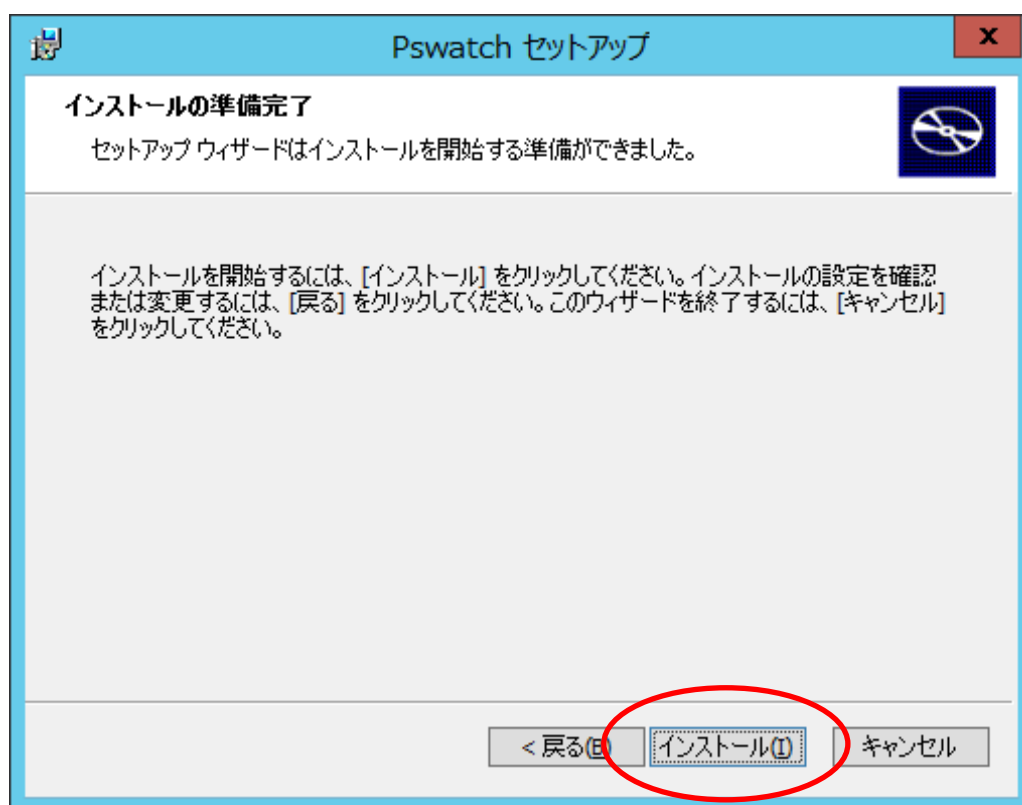


図6 インストールの準備完了画面

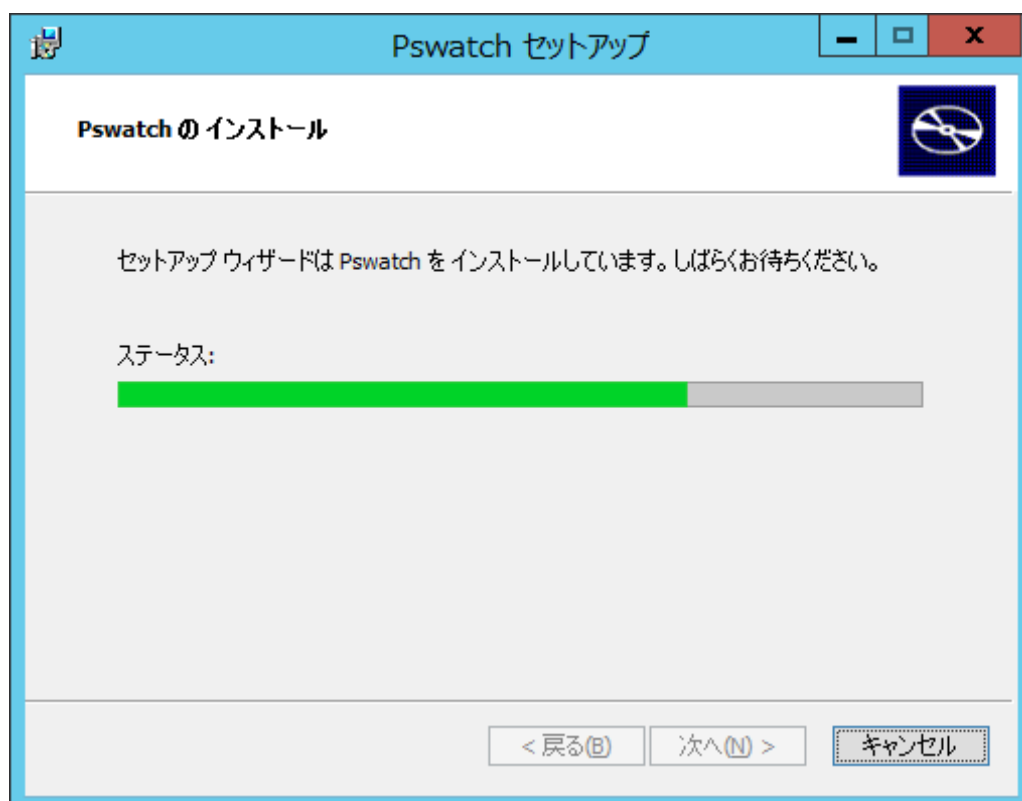


図7 インストール中の画面

- (5) インストールが完了すれば、下記の画面が表示されます。
完了(F) を押して画面を終了してください。

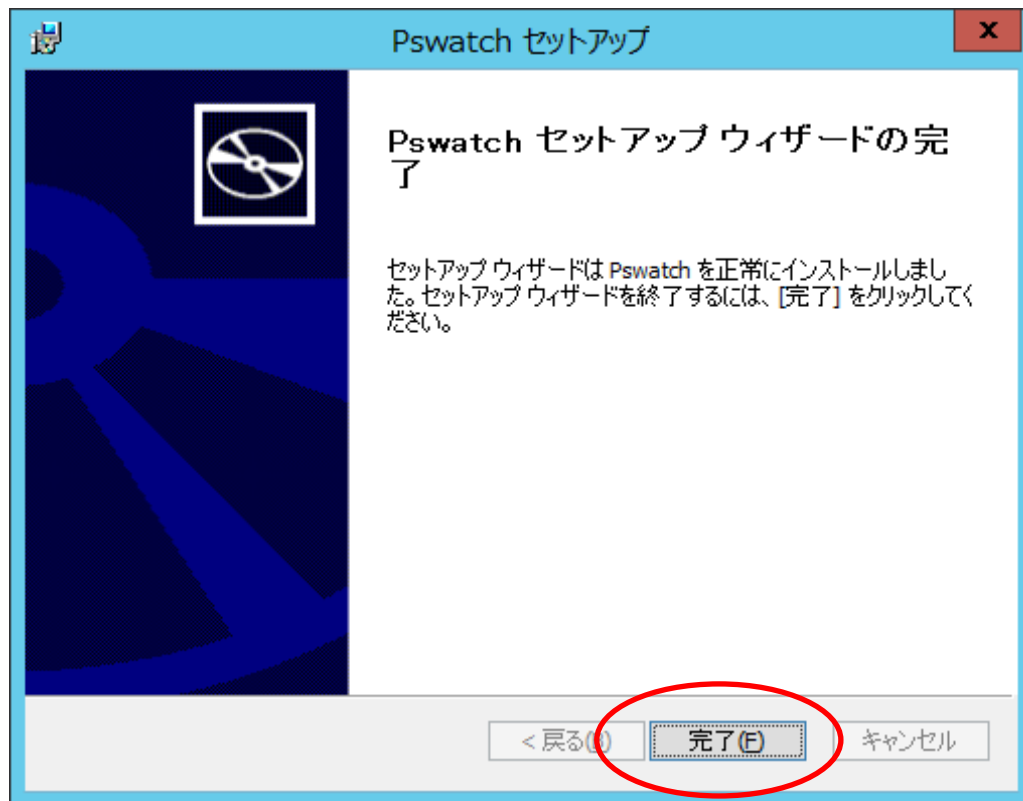


図8 インストールの完了画面

以上で、Pswatch(プロセス自動監視機能) のインストールは終了です。

2.2 アンインストール手順

本機能のアンインストール手順は以下のとおりです。

注意 アンインストールを開始する前に、プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を終了させてください。

- (1) 下記手順により Pswatch(プロセス自動監視機能) のアンインストールを行います。
[スタート] メニュー → [コントロール パネル] → [プログラムと機能] を選択してください。
- (2) 『プログラムと機能』が表示されますので、
[Pswatch] を選択し、アンインストール(U) を実行してください。

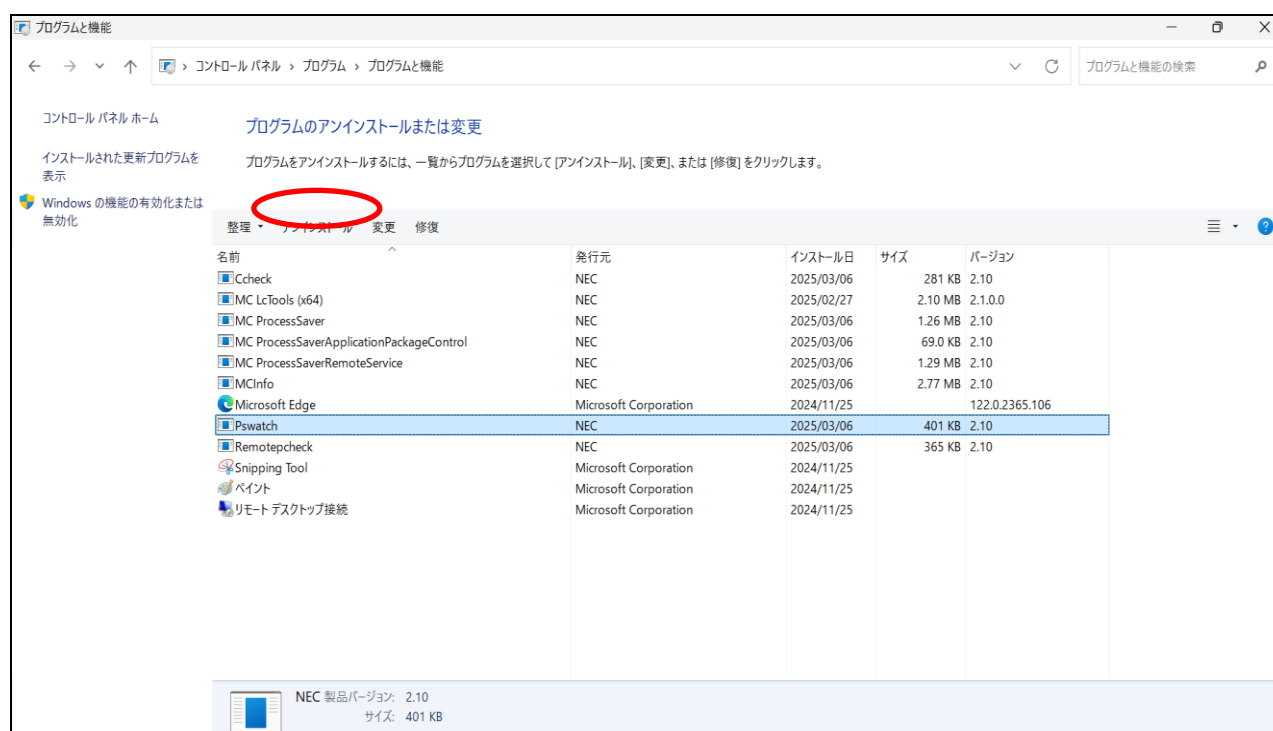


図9 『プログラムと機能』画面

- (3) アンインストール を実行すると下記画面が表示されます。
[はい(Y)] を押すと Pswatch(プロセス自動監視機能)のアンインストールが開始されます。

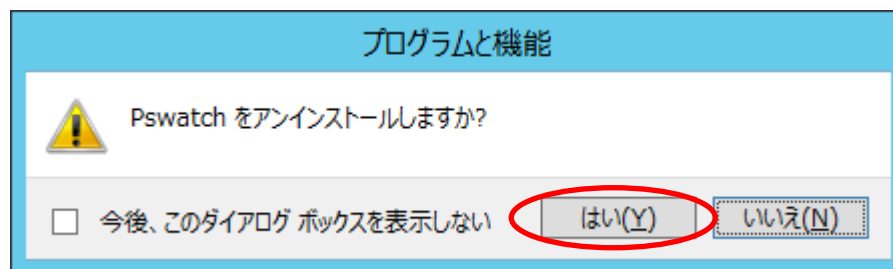


図10 アンインストール確認画面

- (4) インストール時に作成されたフォルダーおよびファイルのみ削除されます。
ログファイルなど運用時に作成されたファイルについては、削除されません。
これらのファイル(インストールフォルダー配下)が不要な場合は、削除してください。

以上で、Pswatch(プロセス自動監視機能)のアンインストールは終了です。

2.3 ダウングレードインストール手順

既にインストールされている Pswatch(プロセス自動監視機能)よりも前のバージョンの Pswatch(プロセス自動監視機能)を
ダウングレードインストールすることはできません。

ダウングレードする場合は、インストールされている Pswatch(プロセス自動監視機能)を一旦アンインストールしてから、古
いバージョンの Pswatch(プロセス自動監視機能)を新規インストールしてください。

なお、Pswatch(プロセス自動監視機能)のアンインストール手順については「2.2 アンインストール手順」、
インストール手順については「2.1 インストール手順」を参照してください。

3 操作・設定について

3.1 プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)について説明します。

3.1.1 プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動と停止

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)は、インストール時に Windows サービスに登録されます。自動起動の設定で登録されますので、OS 起動時に自動的に起動します。

以下の方法でプロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を手動で起動/停止を行うことができます。

- ・ 運用管理コマンド
- ・ サービス画面

プロセス自動監視設定ファイルの設定を変更した場合は、プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を再起動し、エラーメッセージが出力されていないことを確認してください。

メッセージについては、4 メッセージを参照してください。

3.1.1.1 運用管理コマンドを使用した方法

(1) プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動

```
> 【インストールフォルダー】\HA\Pswatch\bin\Pswatchadmin.exe -c start  
Command succeeded.
```

(2) プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の停止

```
> 【インストールフォルダー】\HA\Pswatch\bin\Pswatchadmin.exe -c stop  
Command succeeded.
```

運用管理コマンドの詳細は、3.2 運用管理コマンドを参照してください。

3.1.1.2 サービス画面を使用した方法

Windows サービスを使用し、プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動と停止を行うことができます。

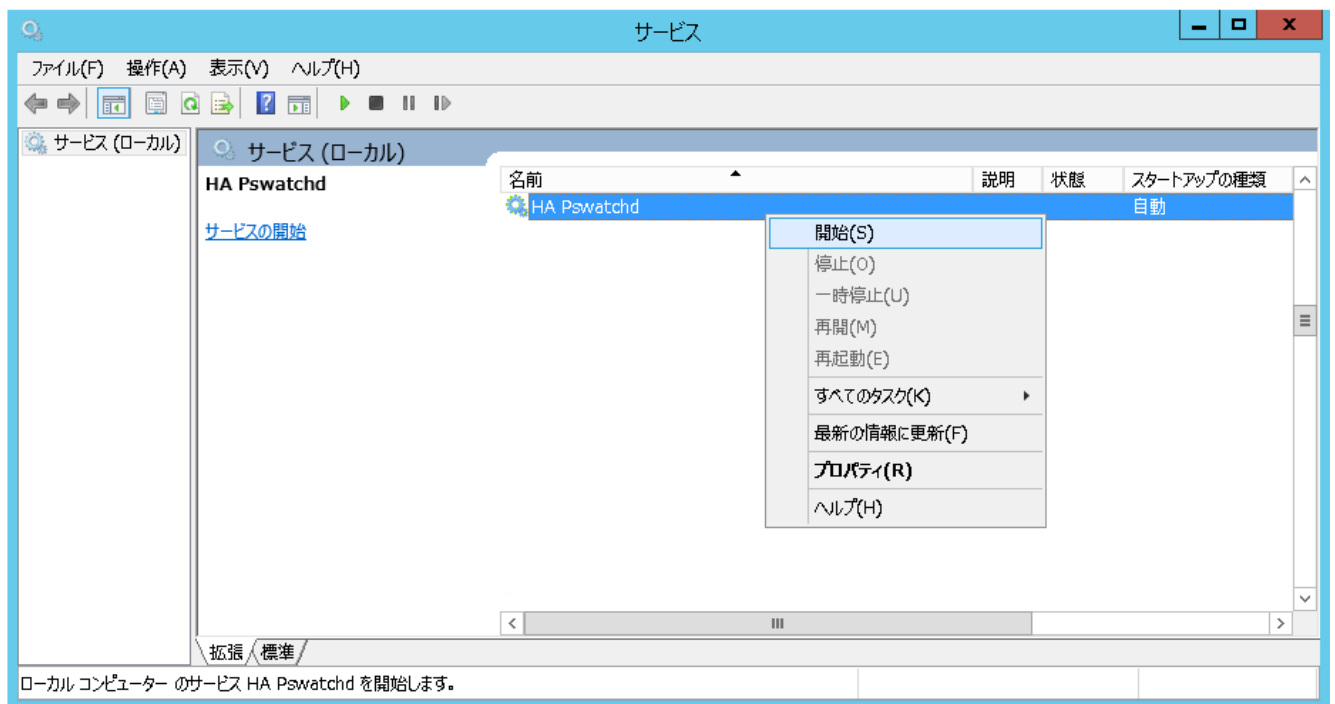


図11 サービス画面

注意 プロセス自動監視サービスの起動と停止は、ProcessSaver 本体のプロセス/サービス監視の起動の有無には、依存しません。

3.2 運用管理コマンド

運用管理コマンドについて説明します。

3.2.1 監視情報の表示

プロセス自動監視サービスが管理している、システムで稼働しているプロセス/サービスの監視の情報を表示します。

実行例)

```
> 【インストールフォルダー】\HA\Pswatch\bin\Pswatchadmin.exe -l
syslog output : disable
```

イベントログ通知の有無を表示します

PID	TYPE	TIME	STATUS	NAME
1196	Service	2017/02/02 10:34:57	running	ALG
1452	Service	2017/02/02 10:32:03	running	AlertManagerMainService
1484	Service	2017/02/02 10:32:04	running	AppHostSvc
1184	Service	2017/02/02 10:32:02	running	BFE
884	Service	2017/02/02 10:32:00	running	BrokerInfrastructure
-	Service	2017/02/02 10:32:01	stopped	CertPropSvc
848	Service	2017/02/02 10:32:02	running	CryptSvc
-	Process	-	init	lmeBroker.exe -Embedding
3620	Process	2017/02/02 10:32:15	running	explorer.exe
12732	Process	2017/02/03 09:05:59	running	explorer.exe
12876	Process	2017/02/03 09:35:18	running	explorer.exe
-	Process	2017/02/03 10:54:27	stopped	explorer.exe

①PID ②TYPE ③TIME ④STATUS

① PID を表示します。

表示	意味
-	プロセス/サービスが稼働していない
数値	稼働中のプロセス/サービスの PID

② 監視対象の TYPE を表示します。

表示	意味
Service	監視の対象がサービス
Process	監視の対象がプロセス

③ 起動/停止時間を表示します。

表示	意味
-	監視対象ではあるがまだ監視を行っていない
日時	起動/停止時の時間

④ 監視状態のステータスを表示します。

表示	意味
init	監視対象ではあるがまだ監視を行っていない
running	稼働中
stopped	停止中

3.2.2 各設定項目の設定状況の表示

起動中のプロセス自動監視サービスの各設定項目の設定状況を表示します。

実行例)

```
> 【インストールフォルダー】\HA\Pswatch\bin\Pswatchadmin.exe -s  
MONITOR_INTERVAL      :60  
CHECK_START_TIME      :12  
CHECK_END_TIME        :12  
PENDING_INTERVAL      :300  
SAME_PROCESS_CHECK    :enable  
SYSLOG_OUTPUT         :disable
```

3.2.3 プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動を行います。

実行例)

```
> 【インストールフォルダー】\HA\Pswatch\bin\Pswatchadmin.exe -c start  
Command succeeded.
```

3.2.4 プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の停止

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の停止を行います。

実行例)

```
> 【インストールフォルダー】\HA\Pswatch\bin\Pswatchadmin.exe -c stop  
Command succeeded.
```

3.3 プロセス自動監視設定ファイル (Pswatch.conf)

3.3.1 プロセス自動監視設定ファイルの設定

プロセス自動監視サービスの基本動作を記載する定義ファイルです。

パラメーター	説明
MONITOR_INTERVAL	プロセス/サービス監視間隔(秒) 指定値は 60 秒 ~ 86400 秒 (= 24 時間)の範囲です。 デフォルト値は 60 秒です
CHECK_START_TIME	プロセス/サービスを監視対象にするための、プロセス/サービスの連続稼働時間(時間) 指定値は 1 時間 ~ 168 時間 (= 7 日間)の範囲です。 デフォルト値は 12 時間です
CHECK_END_TIME	監視処理にて停止を検出したプロセス/サービスを監視対象外にするための、プロセス/サービスの連続停止時間(時間) 指定値は 1 時間 ~ 168 時間 (= 7 日間)の範囲です。 デフォルト値は 12 時間です
PENDING_INTERVAL	プロセス自動監視リストファイルに記載されている、監視対象のプロセス/サービスが起動するまで、監視を待ち合わせる時間(秒) 指定値は 60 秒 ~ 86400 秒 (= 24 時間)の範囲です。 デフォルト値は 300 秒です MONITOR_INTERVAL の整数倍を指定してください。
SAME_PROCESS_CHECK	同名プロセスの監視の方法を指定します。 指定値は、 enable:最後のプロセス/サービスが停止したときに障害と判断する。 disable:個別に停止検知して障害と判断する。 デフォルト値は enable です。
SYSLOG_OUTPUT	障害を検知した場合、イベントログへ通知するかの有無を指定します。 指定値は enable(通知する) または、disable(通知しない)です。 デフォルト値は disable(通知しない)です。

定義例: Pswatch.conf

MONITOR_INTERVAL	60
CHECK_START_TIME	12
CHECK_END_TIME	12
PENDING_INTERVAL	300
SAME_PROCESS_CHECK	enable
SYSLOG_OUTPUT	disable

同名プロセスの監視方法やイベントログ通知の設定、起動中の ProcessSaver 本体での監視状況によって、障害検知時の障害メッセージログやイベントログへの出力条件は以下のようになります。

同名プロセス監視方法の設定値	イベントログ通知の有無	起動中の ProcessSaver 本体での監視対象	障害メッセージログ	イベントログ
enable	enable	監視対象	△	×
		非監視対象	△	△
	disable	監視対象	△	×
		非監視対象	△	×
disable	enable	監視対象	○	×
		非監視対象	○	○
	disable	監視対象	○	×
		非監視対象	○	×

○ ……停止検知ことに出力します。

△ ……最後のプロセス/サービスが停止した場合に出力します。

× ……出力しません。

3.3.2 プロセス自動監視設定ファイルの設定変更手順

プロセス自動監視設定ファイルの設定値を変更した場合は、プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を再起動し、エラーメッセージが出力されていないこと、設定値の変更が反映されていることを確認してください。

以下の手順でプロセス自動監視設定ファイルの設定値を変更します。

- (1) プロセス自動監視設定ファイルの設定値を変更します。
- (2) プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を再起動します。
- (3) 運用管理コマンドの各設定項目の設定状況の表示を使用して、変更した設定が反映されていることを確認します。

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の再起動の詳細は、3.1.1 プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動と停止を参照してください。

運用管理コマンドの詳細は、3.2 運用管理コマンドを参照してください。

3.4 プロセス自動監視リストファイル(PswatchList)

3.4.1 プロセス自動監視リストファイルの設定

監視対象のプロセス/サービスの一覧を記載したファイルです。

プロセス自動監視サービスの停止時に、監視の情報を元に作成されます。

記載されたプロセス名(引数を含む)やサービス名に完全一致するプロセス/サービスを監視対象とします。

パラメーター	説明
TYPE	監視対象がプロセスかサービスかを指定します。 指定値 プロセスの場合は Process サービスの場合は Service
NAME	監視対象としたいプロセス(引数を含む)やサービスの名前を、完全一致で指定します。 同名のプロセス/サービスを複数監視したい場合は、監視対象数分指定します。 指定値 プロセスの場合はプロセス名+引数(プロセス名と引数は空白で区切ります。) サービスの場合はサービス名

※TYPE と NAME は空白で区切ります。

定義例: PswatchList

```
Service ALG
Service AlertManagerMainService
Process explorer.exe
Process explorer.exe
Process notepad.exe
Process notepad.exe C:¥tmp¥test.txt
```

3.4.2 プロセス自動監視リストファイルの設定変更手順

プロセス自動監視リストは自動的に作成しますので、ユーザーが編集する必要はありませんが、プロセス自動監視設定ファイルに定義されている連続稼働時間以上稼働していないプロセス/サービスを監視対象に追加したい場合は、プロセス自動監視リストファイルに記載してください。

プロセス自動監視リストファイルを変更する場合は、プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を停止してから行ってください。変更後はプロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を起動し、エラーメッセージが出力されていないこと、監視対象になっていることを確認してください。

以下の手順でプロセス自動監視リストに監視対象を記載します。

- (1) ProcessSaver 本体の ProcessSaver コンソールの「ProcessActiveList」または「ServiceActiveList」画面を使用して、監視対象としたいプロセス/サービス名を確認します。
- (2) プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を停止します。
- (3) プロセス自動監視リストファイルに(1)で確認したプロセス/サービス名を記載します。
- (4) プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を起動します。
- (5) 運用管理コマンドの監視情報の表示を使用して、監視対象のプロセス/サービスが表示されていることを確認します。

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動と停止の詳細は、3.1.1 プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動と停止を参照してください。

運用管理コマンドの詳細は、3.2 運用管理コマンドを参照してください。

3.5 監視無効リストファイル(PswatchIgnoreList)

3.5.1 監視無効リストファイルの設定

監視対象としないプロセス/サービスの一覧を記載したファイルです。

監視の対象から除外したいプロセス/サービスがある場合は、当リストに記載してください。

記載されたプロセス名(引数を含む)やサービス名に完全一致するプロセス/サービスを監視対象から除外します。

パラメーター	説明
TYPE	監視を無効にしたい対象がプロセスかサービスかを指定します。 指定値 プロセスの場合は Process サービスの場合は Service
NAME	監視対象から除外したいプロセス(引数を含む)やサービスの名前を、完全一致で指定します。 指定値 プロセスの場合はプロセス名+引数(プロセス名と引数は空白で区切ります。) サービスの場合はサービス名

※TYPE と NAME は空白で区切ります。

定義例: PswatchIgnoreList

```
Service ALG
Process explorer.exe
Process notepad.exe C:¥tmp¥test.txt
```

3.5.2 監視無効リストファイルの設定変更手順

監視対象から除外したいプロセス/サービスを記載してください。

監視無効リストファイルを変更する場合は、プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を停止してから行ってください。変更後はプロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を起動し、エラーメッセージが出力されていないこと、監視対象から除外されていることを確認してください。

以下の手順で監視無効リストファイルに監視除外対象を記載します。

- (1) 運用管理コマンドの監視情報の表示を使用して、除外したいプロセス/サービス名を確認します。
- (2) プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を停止します。
- (3) 監視無効リストファイルに(1)で確認したプロセス/サービス名を記載します。
- (4) プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を起動します。
- (5) 運用管理コマンドの監視情報の表示を使用して、除外対象のプロセス/サービスが表示されないことを確認します。

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動と停止の詳細は、3.1.1 プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動と停止を参照してください。

運用管理コマンドの詳細は、3.2 運用管理コマンドを参照してください。

4 メッセージ

4.1 イベントログメッセージ

本製品の導入時、または運用時に、出力されるメッセージを記述します。

プロセス自動監視サービス

・ERROR レベルのメッセージ

メッセージはありません。

・WARNING レベルのメッセージ

Service [xxx, pid=nnn] Down

ソース名 : Pswatchd

イベント ID : 13001

説明 : 監視対象のサービス(xxx)の停止を検知しました。

処置 : サービス(xxx)が停止状態で問題ないか確認してください。

Process [xxx, pid=nnn] Down

ソース名 : Pswatchd

イベント ID : 13002

説明 : 監視対象のプロセス(xxx)の停止を検知しました。

処置 : プロセス(xxx)が停止状態で問題ないか確認してください。

Set pid fail (xxx)

ソース名 : Pswatchd

イベント ID : 13003

説明 : 監視対象のサービス/プロセス(xxx)がプロセス自動監視サービスが起動してから一定時間起動していませんでした。

処置 : サービス/プロセス(xxx)が未起動状態で問題ないか確認してください。

calloc fail.[xxx]

ソース名 : Pswatchd

イベント ID : 13004

説明 : xxx 処理時に、メモリの確保に失敗しました。

処置 : システムの再起動を行ってください。システムの再起動を行っても異常が改善されない場合は、サポートセンターに連絡してください。

Can not read PswatchList.

ソース名 : Pswatchd

イベント ID : 13005

説明 : プロセス自動監視リストファイルの読み込みに失敗しました。

処置 : プロセス自動監視リストファイルの内容を確認してください。

Can not read PswatchStopList.

ソース名 : Pswatchd

イベント ID : 13006

説明 : 停止リストファイルの読み込みに失敗しました。

処置 : サポートセンターに連絡してください。

Can not read PswatchIgnoreList.

ソース名 : Pswatchd

イベント ID : 13007

説明 : 監視無効リストファイルの読み込みに失敗しました。

処置 : 監視無効リストファイルの内容を確認してください。

運用管理コマンド

メッセージはありません。

4.2 コンソールメッセージ

本製品の導入時、または運用時に、出力されるメッセージを記述します。

プロセス自動監視サービス

メッセージはありません。

運用管理コマンド

Error: Get Install Path failed.

説明： プロセス自動監視機能がインストールされていません。

処置： プロセス自動監視機能のインストール状態を確認してください。

Error: Log Init failed.

説明： ログ処理の初期化に失敗しました。

処置： システムの再起動を行ってください。システムの再起動を行っても異常が改善されない場合は、サポートセンターに連絡してください。

Error: Command failed.

説明： コマンドの実行に失敗しました。

処置： 再度コマンドを実行しても異常が改善されない場合は、サポートセンターに連絡してください。

Pswatchadmin: invalid option.

For more information, please run the 'Pswatchadmin.exe -h'.

説明： コマンド実行時のオプション指定が間違っています。

処置： 指定できるオプションを確認してください。

Error: Pswatchd is not running.

説明： プロセス自動監視サービスが起動していません。

処置： プロセス自動監視サービスの起動状態を確認してください。

Pswatchd is already running.

説明： プロセス自動監視サービスがすでに起動しています。

処置： プロセス自動監視サービスの起動状態を確認してください。

Pswatchd is already stopped.

説明： プロセス自動監視サービスがすでに停止しています。

処置： プロセス自動監視サービスの起動状態を確認してください。

5 注意・制限事項

5.1 注意事項

本機能を利用する際の注意事項について説明します。

- ・ 本機能は、ProcessSaver 本体のインストール完了後にインストールしてください。
- ・ 既にインストールされている Pswatch(プロセス自動監視機能)よりも前のバージョンの Pswatch(プロセス自動監視機能)をダウングレードインストールすることはできません。ダウングレードする場合は、インストールされている Pswatch(プロセス自動監視機能)を一旦アンインストールしてから、古いバージョンの Pswatch(プロセス自動監視機能)を新規インストールしてください。

5.2 制限事項

本機能を利用する際の制限事項についてはありません。

6 リファレンス

6.1 Pswatchadmin

名称

Pswatchadmin.exe 運用管理コマンド

構文

Pswatchadmin.exe [-l | -s | -c { start | stop } | -h]

機能説明

プロセス自動監視サービスによって作成される監視情報の表示、プロセス自動監視サービスの管理を行います。

引数指定なし

監視情報の表示を行います。

-l

監視情報の表示を行います。

-s

各設定項目の設定状況の表示を行います。

-c start

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の起動を行います。

-c stop

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)の停止を行います。

-h

Usage の表示を行います。

返却値

正常終了 0

異常終了 1

メッセージ

正常終了時は次のメッセージが出力されます。

Command succeeded.

異常終了時のメッセージについては、4 メッセージを参照してください。

使用例

- ・監視情報を表示します。

```
C:¥Program Files¥HA¥Pswatch¥bin>Pswatchadmin.exe -l
```

- ・各設定項目の設定状況を表示します。

```
C:¥Program Files¥HA¥Pswatch¥bin>Pswatchadmin.exe -s
```

- ・プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を起動します。

```
C:¥Program Files¥HA¥Pswatch¥bin>Pswatchadmin.exe -c start
```

プロセス自動監視サービス(HA Pswatchd)を停止します。

```
C:¥Program Files¥HA¥Pswatch¥bin>Pswatchadmin.exe -c stop
```

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver 2.10
ユーザーズガイド
(プロセス自動監視機能)

2025 年 4 月 第 10 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番地 1 号
TEL (03) 3454-1111(代表)

© NEC Corporation 2025

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙